

10月5日

テーマ：子どものように

聖書箇所：ルカの福音書18章15～17節

◆今日のみことば

まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、入ることとはできません。ルカの福音書18章17節

◆メッセージ

今日の箇所は、イエスさまにさわっていただくとしてお父さん、お母さんに連れられて来られた幼子たち(小さな人たち)を、お弟子さんたちが見て叱ったところです。しかし、イエスさまは幼子たちを呼び寄せて「子どもたちをわたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。」とおっしゃってくださいました。「神の国は、このような者たちのもの」ってどういうことでしょうか？



お母さんにだっこされた赤ちゃんも、イエスさまのところに連れて来られたでしょう。赤ちゃんは、お母さんのおっぱいから出るお乳をそのままごくごく飲みます。「きょうのお乳は、あーだ、こーだ」とケチをつけて、お乳をはき出す赤ちゃんはいません。赤ちゃんはすなおにお乳を飲みます。そんな、すなおにお乳を飲む赤ちゃんのように、神の国をすなおに受け入れる人でなければ、決してそこに入れませんと、イエスさまはおっしゃいました。

みなさんはどうですか？人はだんだん大きくなると、自分でいろいろ考えるようになります。いろいろ自分で考えて、納得できないときには、すなおになれないことがあります。自分で考えることはとても大事なことです。そして自分で考えて、納得するまではすなおに受け入れたくない、と思うこともあるでしょう。たしかに、この社会で生きるには、そのように「自分で納得するまでは受け入れない」とするほうがよい場合もあります。



けれども、神さまがおさめる「神の国」は、自分で考えてわかったり、自分の都合のよいものだけを与えてくれる国でもありません。まずは、神さまがおさめる「神の国」をそのまま受け入れることが大切です。お母さんに抱っこされて、すなおにお乳を飲む赤ちゃんのように、神の国を受け入れる人になりたいですね。

◆お祈り

神さまがおさめる神の国にわたしも入れますように。すなおに信じられるようにしてください。

(伊那聖書教会牧師 大杉 至)